

INTERVIEW

◎インタビュー／薬学部開設にあたって

来年4月、大学に待望の薬学部が誕生します。
これからの薬剤師は、患者さんの心の悩みを理解し、患者さんや他の医療スタッフと円滑に意思疎通することが不可欠。女子総合大学としての特色を活かし、「こころ」と「コミュニケーション」をキーワードにした新しい薬学教育について学部長に就任予定の片山先生に薬学部の特長と理念を伺いました。

高いコミュニケーション能力を持ち
患者さんの心情に配慮できる
豊かな人間性を備えた
薬学のプロフェッショナルを育成します。

金城学院大学薬学部 学部長予定者
片山 肇 教授

プロフィール

1964年名古屋市立大学薬学部卒業。69年京都大学大学院薬学研究科博士課程単位修得退学。同年薬学博士（京都大学）。その後、アルバータ大学・シャブールーク大学・パーゼル大学に留学。77年新潟薬科大助教授、83年同大学薬学部教授。同大学大学院教授。今年度より金城学院大学教授。2005年4月金城学院大学薬学部開設に伴い、同部長に就任予定。

金城学院大学がめざす薬学教育はどのようなものですか。

金城学院大学薬学部は、薬学ジェネラリスト、すなわちチーム医療に貢献し、情報に明るく、高いコミュニケーション能力を持って、栄養・環境に明るく、人の心がわかる薬剤師の育成を目標としています。

医療や調剤の現場では、教科書に解決方法が載っていない問題が発生しますので、未知の問題を主体的に解決する能力を身につけるのは極めて重要なことです。そこで本学薬学部では、「問題解決型教育」方法を採用して、1年次に薬学PBL（Problem-Based Learning）を、1年次から3年次までに薬学セミナーを学習します。これらの科目は教員1名に対して学生10名程度の少人数で実施され、学生自らが疑問点・問題点を発見し、自ら調査、研究して解決する体験型の授業です。教員は学生に必要なアドバイスはしますが、最初から解決方法を教えることはありません。解決方法は学生が見つけたのです。



この体験によって、学生は医療や調剤の現場で実際に起きるさまざまな問題を解決できる能力を身につけます。こうした問題解決能力を身につけることは、薬剤師国家試験の合格にも良い影響を与えるでしょう。薬学部生にとって国家試験は一番の「問題」だからです。

最近では、医師と専門的医療スタッフが一体となって治療にあたる「チーム医療」が脚光を浴び、医師と対等の立場で接することができる医薬品のスペシャリストが求められているなど、これまで以上に薬剤師の活躍の場が増えてきました。この状況の中、問題解決能力を持った薬剤師の輩出は、時代の要請となっているのです。

なお、薬学部のパンフレットでは、薬剤師国家試験100%合格プログラムを紹介していますが、合格そのものが最終目的ではないことをご理解いただきたいと思います。その真意は、国家試験合格は学生が問題解決能力を備えた証しであり、単なる通過点であるということなのです。

キリスト教の精神に基づく女子総合大学の金城学院大学ならではの、という講義はありますか。

薬剤師は、日々新たな薬品を理解する地道な努力が求められるので、真面目な人が多い女性に向いている職業です。また、病人という弱者にソフトに接する必要性を考えると、こころの教育を大切にしている本学で薬学教育を行うのは大きな意味があると思います。さらに、本学薬学部では、サプリメントや化粧品などについての授業も予定されています。これからは、薬剤師にも医薬品の枠を超えて生活の質(Quality Of Life)の向上への寄与が求められることが予想されるからです。

また、3年次の実務実習の前に行われる「ホワイトコート・セレモニー」も本学薬学部の大きな特長です。このセレモニーは実務実習ができる力量を持つ証しとして、チャペルで白衣(ホワイトコート)を授与するという本学独自の儀式です。実習を前にして、医薬を通じて人の生命、健康に貢献するという薬剤師の使命とキリスト教精神について学生が認識を新たにできる良い機会となるでしょう。



薬学部のための新しい校舎も建築中ですね。

薬学部の新設にあわせて、地下2階地上4階の新校舎が誕生します。最新の研究・教育設備を備えたこの新校舎は、模擬病棟、模擬保険薬局が設置されているのが大きな特長です。ここで事前に基礎訓練をすることで、病院と調剤薬局での合計6週間の実務実習がより有意義なものとなるはずです。

また、薬学の学習の中には、患者さんの薬物血中濃度の測定が必要になるものがあります。そのためのTDM(Therapeutic Drug Monitoring 薬物治療モニタリング)室も最新のものを用意しています。

金城学院大学薬学部をめざす生徒にメッセージをいただけませんか。

薬学は、人類の命と健康、ひいては平和にも貢献できる崇高な学問です。さらに、薬剤師となれば、独立開業するだけでなく病院、行政、食品メーカーなど、活躍の分野は幅広くあります。興味のある方は、ぜひ薬学の道に進んでいただきたいと思います。

もっとも、良い薬剤師になるためには、薬学の専門的知識・技術が備わっているだけでは不十分です。患者さんや他の医療専門家と上手にコミュニケーションが取れるなど、人としての総合的な能力が必要なのです。基本的な人間性が問われていることを忘れずに、人間として成長する努力を怠らない気概を持ち続けてほしいと思います。